

# OECCU NEWS

Osaka  
Electro-Communication  
University

大阪電気通信大学 学報

2013年 9月 10日発行  
発行：学校法人 大阪電気通信大学  
〒572-8530 寝屋川市初町18-8  
TEL 072-824-1131 (代)  
<http://www.osakac.ac.jp>

319号



楽しく「調べる、見つける、挑戦する」!





いろんなロボットの研究室見学

電子機械工学科は、常にバランスを取りながら自動的に立っている「倒立振り型搬送カート」、ルービックキューブに挑戦した「レゴ・ロボット」、人の歩いた後を自動的に追ってくる「人間追従ロボットの操縦体験」、複雑な形状のものが作れる「3DCAD・3D加工機による最先端ものづくり」、体を前後に傾けるだけで走行する「近未来型一人用乗り物」など、最新技術の展示・デモンストレーションを行いました。

スーパーボールをつくろう  
人工イクラをつくろう  
ナイロンをつくろう

環境科学科は自然エネルギーを利用する技術、化学の力で新しい物質を創り出す技術、環境問題などに興味のある人に注目されている学科です。「スーパーボール／人工イクラ／ナイロンをつくろう」などの体験コーナーでは、来場された方々が自分でも面白いものを作り出そうと熱心に実験に取り組んでいました。



ペルチェ素子霧箱で  
自然界の放射能を観測してみよう!

拡散霧箱の実験では、エタノールなどの蒸気を過冷却状態になるまで冷やします。そこを荷電粒子が通ると、蒸気の準安定状態が崩れて液化し、霧の筋が現れます。ペルチェ素子を使い、過冷却の温度を作りだします。底面の温度を-30度まで冷やすと、ほぼ確実に霧の筋を見ることができるようになりました。参加者は自然の状況でも放射線が飛び交っていることを実感していました。

いろんな電池をつくろう  
エコカーのしくみ/食品と健康のしくみ  
人工アリのコロニー

燃料電池を自分で組み立てる「いろんな電池をつくろう」や「エコカーのしくみ」では自然エネルギーについて、より身近に感じながら実験に取り組んでいました。また、食品と健康のしくみでは、普段食べている食品の機能を目で見る事ができ、体に良い食品について改めて考えるよい機会になったようです。



自由工房：レスキューロボット、ロボット相撲、マイコンカー、知能ロボット



自由工房は、大阪電気通信大学がバックアップする「ものづくり」の課外活動の場で、年次や学科に関わらず誰でも参加できます。レスキューロボット、ロボット相撲、マイコンカー、知能ロボットなどのプロジェクトが活動しています。その中でレスキューロボットコンテストは震災時の救助活動をテーマとした競技です。1/6スケールの被災地の模型の中から遠隔操縦のロボットで人間に見立てた人形を救助の様子をデモンストレーションしました。

学科個別相談コーナー

学科ごとの紹介、入試説明、個別相談コーナーなどに熱心に説明を聞く保護者の方も見受けられました。質問内容は部活に関することや学費についてなど多様な相談が寄せられました。



四條畷キャンパス

「OPEN CAMPUS 2013」で  
ミライにつながる夢を見つけた!

デジタルゲーム学科の  
デジゲー・ワンダーランド・学生作品展示

学生作品展示ゲーム試遊エリアでは、マルチタッチテーブルを活用した合奏ゲームアプリなど、学生の作ったゲームを体感していました。また、iPhoneゲーム作りにも挑戦し、今話題のスマホアプリ作りを体験していました。



体の中を見てみよう。  
超音波測定デモンストレーション

実際に超音波検査装置で自分の筋肉の形や動き、脂肪の厚さを測定して、その機器の仕組みを解説し、測定した実験データをどのように健康維持・増進に役立てるかを紹介しました。



ロウで温めるパラフィンパック体験!

パラフィン(ロウ)を溶かした中に手や足を入れ、まんべんなく覆います。これを数回繰り返し、保温手袋などを付けて10分前後置きます。その後パラフィンを剥がし、ハンドクリームなどで保湿します。このパラフィンパックの体験には行列ができていました。



中高生のためのクリエイター入門講座

イラスト、アニメ、ボーカロイド・・・作ってみたい中高生の皆さんを対象に、6月から制作講座が行われており、その中の番外編として「プラザPと語ろう!」「神クリエイターと語ろう!」のトークや体験講座を受講しました。

電Chu! 体験!テレビ番組づくり

電ch!企画「大阪電気通信大学中継チーム」、略して「電chu!」は学生が中心となり、インターネット配信を行うチームで、学内外のさまざまなイベント、企画を配信していくことで、大阪電気通信大学の魅力を皆様にお伝えすると同時に、実践を通じて各学生が技術力や企画力を高めていくことを目的として活動しています。そのチームが中心となってテレビ番組づくりを行いました。



立ち乗り電動二輪車「セグウェイ」試乗会

セグウェイは平行に配置された2つの車輪と、その間にわたされたプレート、そこから上部がハンドルとなっており、乗車する人は車輪の間のプレートに立って運転します。車輪はそれぞれが電動サーボモーターで駆動され、その動力は本体底部に搭載されたバッテリーから供給されます。来場者は人間のバランスと機械制御について体験していました。



体験してみよう!  
スポーツ選手のコンディショニング

トップアスリートに行うスポーツコンディショニングを自分で体験しました。スポーツ選手は一般の人々よりもエネルギーや体力の消耗が激しく、すばらしい実力を持っていても、コンディショニングがうまくいかなければ試合で良い成績をあげることはできません。来場者は最適のコンディショニングをどのようにすればよいのかを体験していました。



駅前キャンパス

最新メディアセンター体験プログラム

世界標準の金融情報ネットワーク、Bloomberg 端末を使ったワークショップで実践的経済学を体感しました。

Bloomberg 端末とは?  
金融資産の運用に必要な不可欠最新の市場動向の情報源として、現在世界標準となっているのが、Bloombergの金融情報ネットワーク。金融機関・証券会社でも一握りのディーラーだけが使用しているこのシステムは、株価の変動が即時にチェックでき、膨大な金融情報をリアルタイムで入手することができます。資産運用学科の最新メディアセンターでは、Bloomberg 端末を12台導入、24人が同時に最先端の世界金融市場にアクセスできます。



2012年度学業優秀賞授与式

医療福祉工学部(4月29日)、総合情報学部(4月30日)、工学部・情報通信工学部・金融経済学部(5月16日)の2012年度学業優秀賞の授与式がそれぞれ行われ、165人に授与されました。なお、このうち4年生38人には3月の学位授与式で授与されました。橋邦英学長が「受賞おめでとうございます。皆さんは日ごろからの努力により優秀な成績を修められました。副賞で買った本で自主的に学習することにより成果が表れると思います。今後は本をたくさん読むことにより、たくさんの知識を得て成長してほしい。これからもがんばって視野を広め、研鑽を積んで更にレベルアップをし、来年もまたこの場にきてください」と激励の言葉を述べました。



橋学長から賞を受ける受賞者



高見研・福井俊介さん  
「巨大！LEDキューブパズル」

総合情報学部デジタルゲーム学科の福井俊介さん(高見研究室)の作品「巨大！LEDキューブパズル」が、神戸ビエンナーレ2013 アートインコンテナ国際コンペティションに入選、10月1日から12月1日までメリケンパーク(神戸市中央区波止場町)で展示されることになりました。作品はLEDテープを用いたアミューズメントです。光る巨大サイコロを使っ



神戸ビエンナーレは、神戸が培ってきた多様な文化と先取性を生かし、現在社会を彩るさまざまな文化活動に光を当て、これまでのアート観念を超えた新しい表現や価値の誕生とともに、都市の魅力の創生を謳っています。第4回を迎える2013年のテーマは、「さく"saku"」です。  
【コンペのホームページ】  
<http://www.kobe-biennale.jp/compe/container/index.html>

たパズルゲームで、サイコロを転がすと、ある規則に従って色が変化します。転がしてパズルを解き、サイコロの光によって描かれるコンテナ全体の色彩変化も楽しめます。このコンペの入選作の中から、9月下旬の2次審査で、神戸ビエンナーレ大賞・準大賞が選ばれます。なお、同じ研究室の濱口健太さんが参加しているチーム(4人)が、ミュージック&アートステージコンペティションに応募しており、一次審査で入選候補に決まりました。オカリナとLEDのコラボレーション「To the Sound of the Earth」で、11月9日に神戸文化ホールで開かれるライブ(本選)で大賞・準大賞などが選ばれる予定です。

元場前図書館長(右から3人目)と受賞者(手に賞状)、左から柏原先生、竹山先生



英語多読教育表彰式

英語教育センターと図書館で取り組んでいる英語多読教育(リーディングシャワー)の表彰式が4月26日に行われました。表彰は今回が初めてで、英語多読教育に積極的に取り組み、クラス最高累積語数を収めた学生6人に、元場俊雄前図書館長からリーディングシャワー優秀賞が授与されました。

英語多読教育は、辞書を使わずに英語読書教材を楽しく読む学習法。学生自身が各自の好みと習熟度に合った基礎から上級に至るまでのレベルの本を、図書館で用意した大量の図書の中から選び、各自のペースで楽しみながら、学習したい語彙を何度もくり返し復習することにより、その語彙や文法を習得します。外国語習得のためには理解可能なインプット情報が大量に必要であり、英語教育での新たな取り組みとして多読教育が行われています。今後も積極的に推し進めていきます。

升谷研・植田さんに人工知能学会賞

5月5日、東京都町田市の玉川大学・玉川学園キャンパスで、ロボカップジャパンオープン2013東京と併催された「第37回人工知能学会AIチャレンジ研究会」で、今春修士課程を修了した植田康生さんの研究成果についての発表が「人工知能学会賞」に選ばれました。

テーマは「RoboCup SSL Humanoid のためのカラーボクセルサーバの提案と応用」(A Proposal and its Application of Color Voxel Server for RoboCup SSL Humanoid)で、RoboCup SSL Humanoid(ヒト型ロボットによるサッカー競技)の共有視覚システムとして利用することを想定した研究です。

複数の外部カメラから得られた画像から色付けされたボクセルデータを生成し、それをネットワークで配信する「カラーボクセルサーバ」を提案、これを実装したプログラムの実行例を示したものです。さらに、カラーボクセルサーバから提供された色付けされたボクセルデータに基づいて、オブジェクトの識別とロボットの行動決定を行い、提案手法の有効性を検証しました。



受賞した植田さん(右)と升谷教授

小南昌信教授がアンテナ・伝播研究  
専門委員会功労賞を受賞



情報通信工学部通信工学科の小南昌信教授が、アンテナ・伝播研究専門委員会の2012年度下期功労賞を受賞しました。この賞はアンテナ・伝播研究専門委員会の活性化に多大な貢献をした功労者に対し表彰を行うものです。

アンテナ・伝播研究専門委員会は1966年4月に、アンテナ研究専門委員会と電波伝播研究専門委員会が合体して発足しました。①電波伝搬、非通信利用②アンテナ一般③アンテナシステムの各分野で、研究発表・報告と活発な討議を通して、研究者や技術者、利用者相互間の交流・啓発の場として活動しています。

森田成昭准教授が  
分析化学論文賞を受賞



工学部基礎理工学科の森田成昭准教授が5月18日に北海道大学函館キャンパスで開催された日本分析化学会の第73回分析化学討論会で、2012年「分析化学」論文賞を受賞しました。

テーマは「燃焼火災の赤外発光分光イメージング」です。この研究は、複雑な非平衡化学反応場である燃焼火災中の化学種分布を、赤外発光分光法に基づいて可視化解析する技術について提案し、その有用性を実証しています。

関根正樹特命准教授が日本生体医工  
学会論文賞・阪本賞を受賞



関根正樹特命准教授が、7月3日に開催された第52回日本生体医工学会大会で、平成24年度日本生体医工学会論文賞・阪本賞を受賞しました。論文テーマは「ウェアラブルモーションセンサを用いた片麻痺患者における歩行自立度の定量化」です。

生体医工学は、医学に工学技術を取り入れて、生命現象を明らかにするとともに、診断や治療に有効な手段を提供する、新しい専門分野です。この学会は、大学や研究機関などで行った生体医工学分野の研究成果を発表し、情報交換を行う機会を提供しています。また、医療の社会的な問題についても考え、日本の医療を支えています。

OB出版情報



プロの力が身につく  
Androidプログラミングの教科書  
藤田竜史+要徳幸+住友孝郎+  
日高正博+小林慎治+木村亮海(著)  
価格/3,360円(税込)

升谷研1期生(2009年メディアコンピュータシステム学科卒)で、11年に大学院コンピュータサイエンス専攻を修了した木村亮海さんが、ソフトバンククリエイティブ社から「プロの力が身につく Androidプログラミングの教科書」を共著で出版しました。

木村さんが担当したのは、データにまつわる章で、タイトルは「5時間目 大事なデータをきちんと『守る』」。Android特有のデータの取り扱いや、開発でのトラブルになりやすい箇所を解説しています。また、データの取り扱いを間違えると、個人情報やユーザーのログインパスワードを流出させてしまうため、セキュリティ関連についても触れており、データの在り方について学んでいく章になっています。

資産運用フォーラム

金融経済学部資産運用学科(注)による公開講座「2013年資産運用フォーラム」が、9月23日から毎週月曜日(13:00~14:30)、全15回の予定で開催されます。中井正彦教授が各講座の進行役を担当します。問い合わせはフォーラム事務局(TEL:072-824-1131代表)へ。

【講座】(講師敬称略)

- ・9/23 …… 「遺産相続の理解と手順」  
↳毛利益之(資産承継コンサルタント、元三菱UFJ信託銀行支店長、大阪電気通信大学客員教授)
- ・9/30 …… 「遺産の調査と遺産の分割方法」毛利益之
- ・10/7 …… 「本物の投資が社会を変える」  
↳中野晴啓(セゾン投信株社長)
- ・10/14 …… 「遺言制度と活用事例」毛利益之
- ・10/21 …… 「遺産相続と相続税」毛利益之
- ・10/28 …… 「世界経済、通貨動向の見通し方について」  
↳政井貴子(株新生銀行執行役員市場営業本部市場室長)
- ・11/11 …… 「遺産整理(相続手続)と対策/まとめ」毛利益之
- ・11/18 …… 「南都銀行の『不易流行』経営」  
↳鉄田憲男(株南都銀行総合企画部副参事)
- ・11/25 …… 「地域経済の発展と京都銀行の役割」  
↳奥野美奈子(株京都銀行金融大学校長)
- ・12/2 …… 「近畿大阪銀行のコンサルティング営業について」  
↳鎌田勝義(株近畿大阪銀行経営管理部部長)
- ・12/9 …… 「2014年の金融市場を占う」  
↳宮嶋勝司(宮嶋経済研究所所長)
- ・12/16 …… 「岡村進と旅する資産運用の世界~世界が見えれば自分が見える」  
↳岡村進(株人財アジア代表取締役)
- ・2014/1/6 …… 「新興国投資の魅力」  
↳佐藤俊哉( Legg・メイソン・アセット・マネジメント株執行役員営業本部長)
- ・1/20 …… 「事例で学ぶ相続問題実践講座1」  
↳木山順三(木山財務コンサルタント事務所所長、大阪電気通信大学客員教授)
- ・1/27 …… 「事例で学ぶ相続問題実践講座2」木山順三

(注)2014年4月、アセット・マネジメント学科から名称変更予定。



## グランフロント大阪ナレッジキャピタル

4月26日、大阪市北区の再開発エリア「うめきた」にオープンしたグランフロント大阪の中核施設・ナレッジキャピタルに、最先端技術を用いたさまざまなビジュアル体験ができるThe Lab.が開業、連日にぎわっています。その中のVisLab OSAKAに、総合情報学部がブースを設けて出展したのははじめ、医療福祉工学部理学療法学科の吉田正樹教授が大阪市の支援事業に採択された研究成果を発表・展示するなど、大学が取り組んで

いる最先端技術のPRに力を入れています。ナレッジキャピタルは「人がつながって未来をつくる、知的エンターテインメント大空間」をテーマに、大阪の知の拠点として、情報発信と交流の機能が充実した空間です。VisLab OSAKAには、大阪電気通信大学のほかに大阪大学、関西大学、関西学院大学、サイバー関西プロジェクト、NPO法人バイオグリッドセンター関西、独立行政法人情報通信研究機構などが参加しています。



大阪駅と直結したグランフロント大阪

### 吉田教授が出展

医療福祉工学部理学療法学科の吉田正樹教授が、5月18、19日の2日間、ナレッジキャピタルのコングレコンベンションセンターで開催された「Beautiful-aging Festa2013」に、「バランス維持能力向上支援装置」を出展しました。この装置は、2012年度「大阪市イノベーション創出支援補助金」事業に採択された研究で、眼を閉じて片足立ちした時、足首を骨伝導振動素子で刺激すると、重心の動揺(体の揺れ)が小さくなりバランス維持能力が向上して、転倒の危険性が低下するというもの。今後のさらなる発展を目指し、大阪市からの依頼と支援を得て公開しました。

Beautiful-aging Festa2013は、「美しく、楽しく、賢く生きる」情報を、産学官が一体となって発信するイベント。Beautiful-aging Festa2013実行委員会(JTB西日本、日本経済新聞社)が主催し、大阪府、大阪市などが共催。関西経済連合会、大阪商工会議所などが



装置を説明する学生

### 総合情報学部が出展

総合情報学部がVisLab OSAKAに出展したのは「情報が集まるテーブル」。大きなiPad



実演を見守る来訪者

### 入部准教授が大阪府高齢者大学校で講義

工学部電子機械工学科の入部正准教授が、大阪府高齢者大学校の『先端科学技術を優しく学ぶ科』で、ロボット技術について講義しました。

講義は6月から来年3月にかけて計4回です。6月10、17日、2014年2月24日の3回は、ロボット技術について大阪市教育会館で講義します。最後の3月3日は、大阪電気通信大学寝屋川キャンパスJ号館6階小ホールで、ロボット演習

のようなマルチタッチのテーブルで、タブレット端末と連動して、データの交換、家族・友人・会社での絆を結ぶシステムをイメージしています。展示では、3種類の電子地図(Google Maps, OpenStreetMap, 電子国土)や明日香の観光アプリが、タブレット端末と情報テーブル間で連動するデモが披露されました。

また、4月26日から9月1日まで開催されたイベント「THE 世界一展」で上映された展示映像の音声編集作業を、先端マルチメディア合同研究所(JIAMS)で行い、デジタルゲーム学科3年生のJIAMS学生スタッフも従事しました。

と実体験を予定しています。

講座には60~80歳の55人が参加し、科学技術の歴史を振り返ることから始め、我々の身の回りの生活に深く関わっている先端科学技術を幅広く勉強します。

入部准教授はロボット技術について、専門性の高い内容を歴史をひも解きながら、わかりやすい内容で講義しています。

参加者は「ロボットとは何かを題材に、歴史に残るロボットから現代のロボットまで、また、これからどう発展していくのか、仕組みをやさしく教

後援し、ライフサイエンスや美容関連企業、医療機関などが出展しました。

### 吉田教授が講演

医療福祉工学部理学療法学科の吉田正樹教授が6月6日、ナレッジキャピタルの大阪イノベーションハブで開催された「大阪市イノベーション創出支援補助金成果発表会」で、2012年度「大阪市イノベーション創出支援補助金」事業に採択された「バランス維持能力向上支援装置」の研究成果を発表しました。

吉田教授は装置による実験の詳細を発表し、「予防機器として実用化したい」と意気込みを語りました。

### 小中学生向けワークショップに協力

小中学生を対象にしたワークショップが5月25日、ナレッジキャピタル The Lab.(ザ・ラボ)で開催されました。

大阪電気通信大学も参加しているVisLab Osakaの研究者たちが協力、「コンピュータの『つたえる』仕組みを科学しよう」をテーマに、子どもたちに音や光を使って装置を作るなどの体験をしてもらいました。

また、記録撮影をナガタ研、倉地研、原研の4年生が担当しました。

えていただき楽しく受講できました」と話していました。



講義する入部准教授

### 奈良育英高校と特別連携協定に調印

奈良育英高等学校(上間政彦校長)との特別連携校に関する協定書の調印式が7月2日、寝屋川キャンパスで行われました。

高校側から上間校長はじめ、飯島敏郎高大連携室長、木村立子進路指導部長らが来学しました。大学からは福田國彌理事長、橋邦英学長らが出席しました。

調印式に先立ち、福田理事長が「今回協定に調印いただくことになり大変ありがたいことで

### 高校から大学見学会

2013年度に入って高校から大学のキャンパスを訪れる見学会が相次ぎ、8月8日現在、延べ39校となっています。また、奈良育英高等学校、浪速高等学校など、連携協定に調印し、関係を深める高校も増えてきました。

寝屋川キャンパスでは自由工房、物理学実験室、ダムシミュレーション実験室など、駅前キャンパスでは金融経済学部のBloomberg実習室、四條畷キャンパスではモーションキャプチャスタジオ、映像・音像演習スタジオ、臨床工学実習室、水治療法実習室、運動解析実習室、コナミホールなどを見学し、最先端の教育・研究施設に触れるとともに、福田國彌理事長、橋邦英学長らとの懇談も行われています。

### \*見学された高等学校(日付順)\*

星翔高等学校、京都府立工業高等学校、近江兄弟社高等学校、大阪電気通信大学高校普通科進学コース、好文学園女子高等学校、東山中学・高等学校、上宮高等学校、大阪青凌高等学校、奈良育英高等学校、京都両洋高等学校、東海大学付属仰星高等学校、京都共栄学園高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校、阪南大学高等学校、兵庫県立兵庫工業高等学校、羽衣学園高等学校、大阪府立今宮工科高等学校、浪速高等学校・中学校、追手門学院高等学校、金光大阪高等学校、京都文教高等学校、神戸龍谷高等学校、光泉高等学校、東洋大姫路高等学校、箕面自由学園高等学校、育英高等学校、履正社高等学校、神戸村野高等学校、花園高等学校、東洋大学付属姫路高等学校、箕面自由学園高等学校、好文学園女子高等学校、育英高等学校、履正社高等学校、京都両洋高等学校、神戸村野工業高等学校、花園高等学校、上宮太子高等学校、天理高等学校



四條畷キャンパスを見学する京都文教高等学校の1年生と先生

す。学生諸君を立派に育てることを目的として、実学を基本として腕に技術を持つことに力を入れています。さらには将来社会に貢献するような人になるように教育をしていることに、ご理解をいただき調印に至りました」とあいさつしました。また、上間校長は「実学を実感し、学問を修め社会に役立つことが大切です。社会を背負う人材を育てるため両校がともに、この協定をもって進めていきたい」と応じました。

また、浪速高等学校(木村智彦校長)との特別連携校に関する協定書の調印も行いました。

### 楓大介写真展



「考えながら、撮る」について語る楓教授

総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科の楓大介教授(写真家)による「楓大介写真展~高校生たちとの6日間~」が7月20~25日、駅前キャンパス1階多目的室で開催されました。

楓教授が大阪電気通信大学高等学校の生徒ら18人と6日間にわたってワークショップを行い、「考えながら、撮る」をテーマに、楓教授と生徒たちの作品約100点を発表したものです。

楓教授は、写真展への来訪者へのメッセージで「若い学生たちと、共に制作するという事は楽しくもあり、私自身にも刺激になりました。彼らの学んだことを、学生生活やこれからの人生においても考える力を発揮してくれることを望みます」と述べました。また、20日のオープニングトークで、自らの作品の前に「この金閣寺は、ゴッホならどう撮るか、ゴッホになったつもりで撮った」と、「考えながら撮る」大切さを訴えました。

### 大阪中学生サマー・セミナー



船舶用レーダー

平成25年度の大阪中学生サマー・セミナーが7・8月の夏休みに開催され、大阪電気通信大学は7月27日から8月23日までの間、全9コースを担当しました。

このセミナーは、大学コンソーシアム大阪などによる大阪中学生サマー・セミナー推進協議会が主催し、中学生の夢を実現するために、大学を中心とした専門機関が特色のあるさまざまな講座を開くものです。



大阪電気通信大学・奈良育英高等学校 特別連携に関する協定書調印式

調印後、握手する福田理事長(左)と上間校長

### 高校生、中学生向けエコラボ講座

「ポリフェノール・ポリマーでガン細胞の増殖をおさえよう!」をテーマにした高校生、中学生向けの講座が8月1、2日の2日間、寝屋川キャンパスの環境科学科実験施設「エコラボ」で開催されました。

(独)日本学術振興会の科学研究費補助金により進めた研究の成果を、実験を通して高校生、中学生にわかりやすく伝えることを目的にしたもので、11人が参加しました。

講座を担当したのは、環境科学科の齊藤安貴子准教授。食品の人の健康に対する影響を生物学的に解明する「化学生物学」が専門で、高校生たちは先生の解説により、果物などに含まれるポリフェノール・ポリマーがガン細胞を減らす様子を楽しく観察・体験しました。



ガン細胞の増殖を調べる実験

大学コンソーシアム大阪は、大阪府内45大学で構成される特定非営利活動法人(NPO)です。大学の相互連携を深めるとともに、地域社会・産業界・行政が協力しあって、地域社会に貢献すること、産官学の連携を強めること、国際交流を進めることを目的としています。

### 【大阪電気通信大学が担当した講座】

◇電波の実験室「ラジオの製作と船舶用レーダーの操作」◇霧箱を作って放射線の足跡を観察してみよう◇MindstormsNTXを用いたロボット作り教室◇環境技術体験教室「燃料電池と太陽電池のしくみを学ぼう!」◇光で遊ぼう(1)光で音楽を飛ばそう(2)光ファイバの不思議◇音声や画像をいろいろ加工してみよう!◇数のふしぎ・図形のふしぎ◇化学ってすごい! 化学実験で理解しよう、化学製品から細胞まで!◇集積回路を設計してみよう!

佐藤大商会頭が工学部入部研を見学



入部研の学生と記念撮影、中央でロボットを持つのが佐藤会頭

大阪商工会議所の佐藤茂雄会頭(京阪電鉄最高顧問、大阪電気通信大学理事)と大商会員でロボットビジネスを手がける玉井博文氏(マッスル㈱代表取締役)らが4月16日、寝屋川キャンパスを訪れ、工学部電子機械工学科の入部研究室を見学しました。

一行は福田國彌理事長、橋邦英学長らと懇談後、入部研を訪問しました。入部正継准教授がロボットに関する研究開発などを紹介した後、研究室の学生がフィードバック技術を利用した「天体観測のための補償光学システムの開発」や「歩行ロボット」「在宅酸素療法・患者支援技術」について実体験を交え説明しました。

入部准教授は開発のコンセプトについて「体の不自由な方への補助具として注意することは、過度なアシストは避け、歩行の状態を分析し、利用者の使用実態に合わせています」と説明しました。

佐藤会頭は平成22年に就任以来、「地域経

済、中小企業の現状を把握するには、現場の声を聞くことが第一」との方針を打ち出し、会員企業や商店街、関わりの深い機関や地域をこれまでに100カ所以上訪問しています。

訪問を終えた佐藤会頭は、「大学と民間企業のコラボレーションをどのように進めるべきかと

ゲームデザイナー堀井雄二氏 特別講演会「ドラゴンクエスト」

ドラゴンクエストシリーズの生みの親でゲームデザイナーの堀井雄二氏による特別講演会が6月24日、四條畷キャンパスで開催されました。シナリオ論1(デジタルアート・アニメーション学科)とゲーム学(デジタルゲーム学科)の授業の一環として合同で行われたもので、200人以上の学生が参加し対話形式の講義で盛り上がりました。

ドラゴンクエストシリーズは、第1作の「ドラゴンクエスト」から「VI」までは任天堂のファミリーコンピュータ、スーパーファミコン用として、第7

作の「VII」はソニーのプレイステーションで開発されました。その後もプレイステーション2「VIII」、ニンテンドーDS「IX」、Wii「X」と開発されており、講演では制作過程における歴史について秘話が飛び出しました。



講演する堀井氏

【講演要旨】

当初はコンピュータにはまるのが成功に導いてくれた。PC6001を使ってBASICをゲーム感覚で遊びながら覚えた。ドラクエIIはメモリーも32KBと極端に少なく開発時の苦労が絶えなかった。マニュアルも活用せず使いながら理解する「しきい値」の低さを意識して作った。

それ以降、システムの発展に伴い、より複雑になっていった。X世代ではオンラインになり難しさは増したが、周りに仲間がいるというつながりが楽しさを増していった。ゲームはとても楽しいし、漫画とは違った味がある。ゲームデザイナーとして忘れてはいけないことは、ゲーマーにどこを見せるのかを明確にして面白さを盛り込み、つくることです。

大学+専門学校進学率 91% 電通大への進学率は51%

今春の卒業生進路

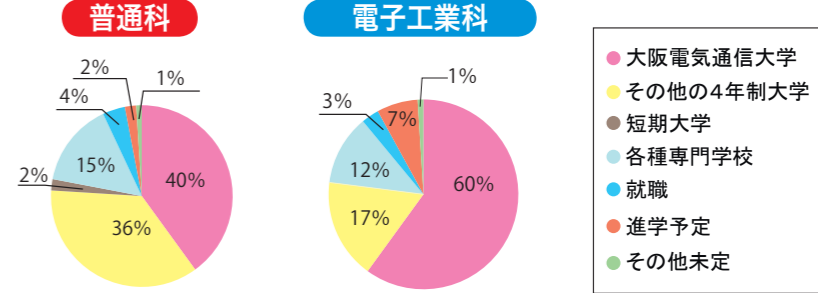
今春の卒業生315人のうち、4年制大学へ241人が進学(大阪電気通信大学に162人、51%)、短期大学へは3人が進学。4年制大学および短期大学への現役進学率は77%(普通科78%、電子工業科77%)、専門学校を含めると進学率は91%になります。

2013年3月卒業生 進路先

	普通科	電子工業科	合計
大学(4年制)	99(52)	142(110)	241(162)
短期大学	3	0	3
専門学校	20	22	42
就職	5	6	11
進学予定	3	13	16
未定	1	1	2

卒業生数	131	184	315
------	-----	-----	-----

( )内は電通大進学的人数



支援金今年度も昨年同様

◆国の制度「高等学校等就学支援金」

私立の全日制高校に在籍していれば、所得にかかわらず、年額118,800円が全員に給付されます。家庭の総所得により制限がありますが、さらに1.5倍から2倍、最大118,800円の加算給付もあります。

◆大阪府の制度「私立高校等授業料支援補助金」

保護者等(親権保有者)が大阪府民で生徒が電通大高校に10月1日に在籍していれば、平成25年度は、大阪府の「私立高校等授業料支援補助金」が右記のように交付される予定です。国と大阪府を合わせると右表のようになります。

大阪府民の場合、年収610万円未満の家

庭では電通大高校の授業料が実質無償となります。

電通大高校は授業料年額55万円ですから全国一律に支給される118,800円を差し引

いた431,200円が授業料です。これを一括納入または、10回分納で納入していただきます。大阪府の補助金の確定後(11月頃)、返金(還付)や差し引き(相殺)をします。

所得区分のめやす(父母合算)※	国の就学支援金(年額)	大阪府授業料支援補助金	支援金と補助金の合計	保護者負担
非課税・生活保護	237,600円	312,400円	550,000円	0円
年収350万円未満	178,200円	371,800円	550,000円	
年収610万円未満	118,800円	431,200円	550,000円	
年収800万円未満	118,800円	331,200円	450,000円	100,000円
年収800万円以上	118,800円	0円	118,800円	431,200円

※所得区分はあくまで、目安です。実際には課税ベース(市民税の所得割額)で判別されます。同じ年収の方でも、扶養する家族の人数、年齢等によって区分が異なる場合があります。

※兵庫県、奈良県、京都府でも金額や対象者は異なりますが自治体独自の制度はあります。

平成26(2014)年度 入試説明会

説明会場 大阪電気通信大学高等学校 体育館1階

保護者・生徒対象

10月19日(土) 12月8日(日)  
11月17日(日) 12月14日(土)

説明会 10:00~ 説明会 13:00~  
見学会 11:00~ 見学会 14:00~

平成26(2014)年度 高等学校入試要項

学 科	募集人員	出願期間	試 験 日	合格発表
普通科 ・進学コース ・健康スポーツコース	160人	1/27(月)~2/3(月) (土・日は受付不可) 提出先: 高等学校事務部	2/10(月) (国・数・英の筆記試験)	2/13(木) (郵送)
電子工業科 ・理数コース ・電子情報コース ・医療電子コース ・デジタルゲーム開発コース	160人		2/11(祝・火) (面接試験 保護者同伴)	

◎試験科目: 国語、数学、英語 各100点、50分  
◎両科とも男女共学  
◎普通科の「健康スポーツコース」は1年次より1クラス(約40人)募集。  
◎電子工業科の「理数コース」は1年次より1クラス(約40人)募集。  
それ以外のコースは一括募集し、2年次にコース分けを行う。

大阪電気通信大学高等学校 〒570-0039 守口市橋波西之町1-5-18  
電話 06-6992-6261 FAX 06-6991-4117 http://www.dentsu.ed.jp/

後援会など総会

総会后、行われた役員紹介



大学・大学院の在学生の保護者で組織する後援会(宮本文雄会長)の2013年度定期総会が6月8日、寝屋川キャンパスJ号館で開催され、①12年度事業報告および決算②13年度事業計画および予算③13年度役員選出が原案どおり承認されました。

総会に続いて、不破信勝就職部次長が「就職活動を支える保護者の方へ~子供の就職(将来)に向き合う~」と題して講演しました。

また、今年は後援会が設立されて50周年にあたり、総会に先立って社会見学会がA・B2コースに分かれて行われ、約100人が参加しました。

Aコースは京都の月桂冠大倉記念館と朝日新聞京都工場、Bコースはアサヒビール吹田工場と大阪科学技術館を見学しました。

3団体を代表してあいさつする石桁緑樹会会長(左)と猿渡友電会会長(中央)、平岡クラブ同窓会会長



平成25年度の友電会(大学同窓会、猿渡洋会長)、クラブ同窓会(平岡臨会長)の総会と緑樹会(教職員OB会、石桁正士会長)の年次報告会が6月22日、寝屋川キャンパスJ号館(エデュケーションセンター)で開催されました。

総会などの終了後、金融経済学部の中井正彦教授が「負けない投資について」をテーマに講演しました。

友電会総会での猿渡会長(右)



このあと会場を1階に移し、福田國彌理事長、橋邦英学長ら来賓を迎えて、3団体合同懇親会が催されました。

高等学校同窓会(森強会長)は5月18日、守口市のホテル・アゴーラ大阪守口で開催され、2012年度事業・会計報告、2013年度事業計画・予算などが原案どおり承認されました。

総会后、大阪電気通信大学などから来賓を迎えて、懇親会が催されました。

新任教職員

伊藤 義道(いとう・よしみち=工学部電気電子工学科准教授)  
1990年京都大学工学部電気工学第二学科卒。92年同大学院工学研究科電気工学専攻博士前期課程、94年電気工学第二専攻博士後期課程退学、大阪大学工学部通信工学科助手。2007年同大学院工学研究科電気電子情報工学専攻助教。博士(工学)。45歳。  
(5月号掲載の経歴に一部誤りがありましたので、お詫びして再掲載します。)

## 体育系クラブ

### 硬式野球部



1年20人、2年11人、3年11人で高校や大学のグラウンドでほぼ毎日活動しています。3年間続けることで、やり抜く力や目上の人に対する礼儀が身につく、かけがえのない仲間を得ることができる部活です。



6回裏で逆転のスコアボード



6回裏電通大の攻撃で満塁の場面

### 硬式野球部が、各新聞で報道されました!

高校野球大阪大会2回戦、「電通大対金光大阪」惜しくも負けましたが、春季府大会準優勝校に対する電通大高の善戦が7月17日、各新聞で報道されました。「あと一歩力の限り」「負けへん、自信の投球」朝日新聞、「日々の「基本」信じ善戦」読売新聞



掲示板に貼られた新聞記事

### 剣道部



現在部員15人で高校剣道場にて活動しています。初心者、経験者問わず、昇段や試合に向け鍛錬に励んでいます。昨年は大阪府下団体ベスト16に残ることができました。

### 柔道部



部員数13人で、日々汗を流し稽古に励んでいます。部員のほとんどは高校生から柔道を始めた者ばかりです。その中で心身を鍛え、礼儀作法を学び、試合に勝つのは勿論、人間的な成長を目標に努力しています。

### 空手道部



部員は現在14人で、楽しく、礼儀正しくをモットーに毎週水曜と金曜に剣道場で練習をしています。本校は全日本空手道連盟に属し、「形」や当たる直前で止める「寸止め」ルールでの組手を練習しています。

### バレーボール部



私達バレーボール部は規律を守り、その中で自分達で考え今何をすべきかを第一に考え練習をしています。近畿大会出場を目標に日々努力を続けています。

### 卓球部



現在、10人で夏の新人戦、私学大会、秋の総体に向け練習に励んでいます。部の雰囲気はとても明るく、初心者、経験者さまざまですが、部員一人ひとりが目標を定め、それに向かい切磋琢磨しています。

### 硬式テニス部



1年生22人、2年生10人で練習をしています。場所は大枝コートや河川敷コートです。目標は個人戦・団体戦で本戦に出場することです。チームワークを大切に、日々の練習を頑張っています。

### サッカー部



現在、部員23人で活動しています。練習場所は本校グラウンドのほか、大学の寝屋川グラウンドも使用しています。弱小チームですが、FOR THE TEAMをモットーに日々練習に取り組んでいます。

### バスケットボール部



部員数は28人、本校体育館で毎日休まず活動しています。インターハイ予選では3回戦で敗れてしまいましたが、冬の選抜大会予選では中央大会上位を狙って、日々頑張っています。

### ラグビー部



現在部員16人で活動しています。平日は本校グラウンドで、土日は大阪高校で合同練習を行っています。春の大阪総体(10人制の部)では大阪高校と合同チームで出場し、準優勝することができました。

### 体操部



部員7人と少ない人数ですが、女子部員も1人います。器具も6種目全部練習します。体育館2階で練習しております。初心者が多いですが、3年間で見違えるほど、筋肉が発達し、技もたくさん覚えます。

### 陸上競技部



短、中距離を主として活動中です。個人の能力が重要と思われがちですが、皆で協力しないと自己ベストを出す為の練習もできません。互いに協力し励まし合いながら、目標に向け活動しています。

### バドミントン部



部員15人で活動しています。昨年は私学大会4位の実績を残しています。初心者の部員も多いですが、3年間続けることで上達していきます。やる気のある部員の入部を待っています。

## 文化系クラブ

### 情報処理部



部員がテーマを決めて、プログラミングをしています。立命館大学で行われているITチャレンジソフトウェアコンテストや情報オリンピックに参加しています。

### 科学部



物・化・生・地との分野も自由にできるクラブで、現在の部員は昆虫や熱帯魚に関心があります。全体ではここ数年、地震の研究をしており、地学クラブ研究発表会で発表しました。週2回程度、化学実験室で活動しています。

### 囲碁将棋部



初～上級者が和気あいあいと将棋を中心に活動しています。今年は棋力の高い生徒が入部したこともあり、春の大会で団体戦3位に入賞しました。今度は個人戦で入賞を目指します。

## 同好会

### 民俗学研究同好会



現在、3年生4人、2年生2人、1年生1人で活動しています。日帰りで博物館や史跡を訪ねたりしています。また、学校の畑でさまざまな作物を育てています。夏休みには、合宿へ行きます。今年は1泊で、郡上高原です。

### 文芸同好会



現在10人で活動しています。同好会所有のノートパソコンで作品を作ったり、各自が創作してきた小説を持ち寄りて批評し合ったりしています。明るくアットホームな雰囲気の同好会です。

### 音楽部



現在、男女合わせて11人で10月の文化祭に向け音楽室で練習しています。部の雰囲気はとても明るく、フルートやサクソ、ドラムなどに挑戦し、音楽を楽しんでいます。ほとんどが初心者で和気あいあいとしたクラブです。

### 漫画研究部



現在部員は20人くらいです。年に4～5冊部誌を制作しています。活動は水木土の週3回。テーマを決めてイラストを描き、批評し合ったりもしますが、みんなでワイワイやっいることが多いです。

### メカトロニクス部



「自分で作る。自分で動かす」をモットーに電子工作を行っています。回路設計やマイコン制御プログラミングなど高度な知識や技術も先輩が後輩に丁寧に教えています。今年度はロボカップジュニアの全国大会に出場しました。

### かるた道同好会



3年生2人、2年生1人、1年生3人の計6人です。第二視聴覚室に畳を入れて練習しています。百人一首競技かるた大会に出場し、上位入賞を目指します。札を覚えるコツ、戦略、戦術をぜひ体験してください。

### 模型同好会



校内の模型好きが交流する場として立ち上がった本同好会も、毎年途切れず部員が入り、今や常に15人程度。中にはここが本校を選んだ動機だと言う1年生まで。作品発表なども通し、ますますアピールしていきます。

### 軽音楽部



1つの練習場を3バンドで仲良く取り合う中、今年も10人の1年生を迎えました。「勉強せよ!」顧問からうるさく言われつつ…。先輩に追いつけ、追い越せ!の勢いで、文化祭デビュー目指し頑張っています。

### ボランティア・パル部



3年生4人、2年生2人、1年生1人計7人です。福祉マップの作成や福祉関連資格の取得に取り組んでいます。福祉マップ(は)バギーマップを作成しています。資格は福祉用具専門相談員と医療福祉環境アドバイザーです。

### 写真部



部員は現在24人で活動しています。芸術文化連盟主催の講習会への参加や文化祭・各種コンテストへの出展、校外撮影会・合宿など積極的に活動しています。昨年度は優秀賞1回、奨励賞4回受賞しました。

### ボウリング同好会



現在部員は1人で、しかも3年生です。週に一度、寝屋川にあるボウルパロンに練習に行っています。マイボール、マイシューズで200アップを目指しませんか。

### 演劇お笑い同好会



部員は現在6人で、全員が3年生です。練習は月・火・木曜日に1年10組の教室で行っています。毎年開催される「ハイスクール漫才甲子園」や文化祭でのステージのために常に新しい漫才やコントのネタを創作しています。

# 平成24年度 決算報告

## 1) 資金収支計算書(表1)

資金収支計算書は、学校法人の毎会計年度における、教育研究その他の諸活動に伴い発生する全ての収入、支出の内容及び支払資金の顛末を明らかにしたものです。平成24年度における資金収入は141億7千6百万円となりました。これに対し資金支出は141億1千1百万円で、当年度の資金収支差額は6千4百万円の収入超過となり、これに前年度の繰越金44億6百万円を加え、次年度への繰越金は44億7千1百万円となりました。主な内容は、次のとおりです。

### ◎収入の部◎

#### 1. 学生生徒等納付金収入

大学では、学生数の減少等により、納付金全体で、前年度より約2億3百万円の減収、高校では、大阪府授業料支援補助金制度改定後の学年進行等により、納付金全体で、前年度より約2千8百万円の減収

#### 2. 手数料収入

大部分は入学検定料、その他手数料もあわせて前年度より約6百万円の増収

#### 3. 寄付金収入

前年度より約3千9百万円の減収

#### 4. 補助金収入

学校法人大阪電気通信大学の平成24年度決算は、監査法人及び監事の監査を終え、5月25日の評議員会の諮問を経て、理事会にて承認されました。

学校法人の決算は、学校法人会計基準により資金収支計算書、消費収支計算書及び貸借対照表を作成することとなっています。

国及び大阪府等からの補助金、このうち経常費補助金は約10億4千5百万円で、その他の補助金も含め前年度より約7千4百万円の増収

#### 5. 資産運用収入

預金・有価証券の利息、配当金及び教室利用料収入で、前年度より約5千1百万円の増収

#### 6. 資産売却収入

有価証券の売却金等

#### 7. 事業収入

主として大学の研究受託収入(29件)

#### 8. 雑収入

主として退職者に対する私学退職金財団からの交付金

#### 9. 前受金収入

平成25年度入学生が平成24年度末までに入金した入学金・授業料等

#### 10. その他の収入

前年度の未収入金の入金額、施設設備等拡充引当特定資産の取り崩しによる繰入額、学外諸団体からの預り金の受け入れ等

#### 11. 資金収入調整勘定

期末の未収入金と前期末の前受金で、現金収受が翌年度、前年度に行われ、当年度に資金が入金されないで控除

### ◎支出の部◎

#### 1. 人件費支出

教職員の給与・退職金。当年度は、全体として約1千1百万円の減額

#### 2. 教育研究経費・管理経費支出

教育研究経費は教育及び研究に要した経費で奨学金、修繕費等、管理経費は、学生生徒募集等に要した諸経費等

#### 3. 施設関係支出

建物・構築物の新築、改修に要する支出。主なものは、四條畷キャンパス1,10,11号館改修工事

#### 4. 設備関係支出

機器、備品、図書等教育研究用設備取得に要した支出。主なものは、四條畷キャンパスネットワーク設備・情報処理演習室機器更新費用

#### 5. 資産運用支出

有価証券購入費、施設設備等拡充引当特定資産等への繰り入れ支出

#### 6. その他の支出

前年度の未払金の支払い、学外諸団体の預り金の払い出し等

#### 7. 資金支出調整勘定

当年度に計上した諸経費のうち翌年度に支払う金額、または前年度に既に支払った金額、当年度に資金を支出しないので控除

平成24年度資金収支計算比較表(表1)

(単位千円)

	科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
収入の部	学生生徒等納付金収入	7,482,571	7,715,269	△ 232,697
	手数料収入	125,443	119,207	6,235
	寄付金収入	19,647	59,425	△ 39,777
	補助金収入	1,388,720	1,313,834	74,885
	資産運用収入	167,054	115,633	51,420
	資産売却収入	1,965,367	1,159,479	805,888
	事業収入	168,340	103,982	64,358
	雑収入	335,193	321,941	13,252
	前受金収入	1,384,107	1,342,628	41,478
	その他の収入	2,944,971	2,005,489	939,482
	資金収入調整勘定	△ 1,804,646	△ 1,739,975	△ 64,670
	前年度繰越支払資金	4,406,253	4,264,134	142,119
	収入の部合計	18,583,025	16,781,051	2,823,700
支出の部	人件費支出	5,038,405	5,049,489	△ 11,084
	教育研究経費支出	2,115,920	2,271,394	△ 155,473
	管理経費支出	589,446	576,463	12,983
	借入金等利息支出	35,641	40,353	△ 4,712
	借入金等返済支出	267,212	245,979	21,233
	施設関係支出	142,595	137,942	4,653
	設備関係支出	582,116	369,163	212,952
	資産運用支出	5,181,236	2,986,367	2,194,869
	その他の支出	1,077,198	1,549,390	△ 472,191
	資金支出調整勘定	△ 917,960	△ 851,745	△ 66,215
	次年度繰越支払資金	4,471,212	4,406,253	64,959
	支出の部合計	18,583,025	16,781,051	2,823,700

平成24年度消費収支計算比較表(表2)

(単位千円)

	科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
収入の部	学生生徒等納付金	7,482,571	7,715,269	△ 232,697
	手数料	125,443	119,207	6,235
	寄付金	51,112	137,792	△ 86,680
	補助金	1,388,720	1,313,834	74,885
	資産運用収入	167,054	115,633	51,420
	資産売却差額	0	61,674	△ 61,674
	事業収入	168,340	103,982	64,358
	雑収入	335,193	322,097	13,096
	帰属収入合計	9,718,436	9,889,492	△ 171,056
	基本金組入額合計	△ 663,288	△ 500,933	△ 162,354
支出の部	消費収入の部合計	9,055,147	9,388,559	△ 333,411
	科目	本年度決算額	前年度決算額	増減
	人件費	5,092,632	5,020,849	71,782
	[内退職給与引当金繰入]	(539,558)	(415,018)	(124,540)
	教育研究経費	3,276,442	3,461,939	△ 185,497
	[内減価償却額]	(1,152,996)	(1,181,345)	(△ 28,349)
	管理経費	620,361	640,573	△ 20,211
	[内減価償却額]	(30,470)	(29,318)	(1,151)
	借入金等利息	35,641	40,353	△ 4,712
	資産処分差額	65,249	91,103	△ 25,853
徴収不能額	216	429	△ 212	
消費支出の部合計	9,090,543	9,255,248	△ 164,704	
当年度消費収入超過額	△ 35,395	133,310	△ 168,706	
前年度繰越消費支出超過額	10,263,483	10,396,793		
翌年度繰越消費支出超過額	10,298,879	10,263,483		

## 2) 消費収支計算書(表2)

消費収支計算書は、当該年度の消費収入と消費支出の内容を示し、消費収支の均衡状態を把握して学園の経営状態を見る重要な計算書です。資金収支計算書では、全ての収入支出を表しており負債となる借入金や預り金の収入、返済金や払い出し金等の支出が含まれていますが、消費収支計算書ではそれらは含まれません。また、帰属収入の中の「寄付金」に収入の伴わない現物寄付が含まれ、資産を売却した場合の売却益である「資産売却差額」が科目として含まれています。消費支出の部では、支払い資金でない「退職給与引当金繰入額」、「減価償却額」及び資産を売却した売却損や廃棄した場合の「資産処分差額」等の科目が含まれています。概要は、次のとおりです。

## 3) 貸借対照表(表3)

貸借対照表は、法人の財政状態を表すものです。当年度の資産総額は435億8千5百万円で前年度より5億3百万円増加、一方負債の総額は67億2千3百万円で前年度より1億2千3百万円の減少となりました。その結果、資産総額から負債総額を控除した法人の純資産は、368億6千1百万円で、前年度より6億2千7百万円の増加となりました。

# 平成25年度 予算

### 資金収支予算書

平成25年度の資金収入の合計は95億8千3百万円、一方資金支出の合計は102億6千5百万円で、6億8千1百万円の支出超過となります。当年度は、3D-CAD/CAMによる実践型教育設備導入費用として1億4千2百万円、寝屋川キャンパスJ号館教育用コンピュータシステム整備事業第二期費用として1億2百万円、高等学校入試・学籍・教務システム更新費用1千5百万円の設備関係支出等があり、次年度への繰越金は、37億8千9百万円の見込みです。

### 消費収支予算書

帰属収入の合計は93億1百万円で、前年度予算より5千3百万円の減額となり、これから基本金組入額を控除した消費収入の部合計は88億1千万円です。また、消費支出の部合計は92億4千7百万円で、前年度予算より4千9百万円の減額となりました。その結果、消費収入の部合計から消費支出の部合計を控除した平成25年度の消費収支差額は4億3千6百万円の消費支出超過となる見込みです。

当年度の「帰属収入の合計」いわゆる負債とされない収入の合計は、97億1千8百万円で前年度より1億7千1百万円の減額となりました。この「帰属収入合計」から「基本金組入額合計」6億6千3百万円を控除した金額が消費支出に充てる「消費収入の部合計」であり、前年度より3億3千3百万円の減収となっています。また、当年度の「消費支出の部合計」は、前年度より1億6千4百万円の減額となり、その結果、当年度は、3千5百万円の消費支出超過となりました。

(注)「基本金組入額」とは学校法人が教育研究等諸活動の計画に基づき取得した資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから組入れた金額であり、組入れ対象資産として

て次の4つに区分されます。

第一号基本金(設立当初に取得した固定資産で教育の用に供されるものの価額又は新たな学校の設置若しくは既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のための固定資産の価額)

第二号基本金(新たな学校の設置又は既設の学校の規模の拡大若しくは教育の充実向上のために将来取得する固定資産の取得に充てる金銭その他の資産の額)

第三号基本金(基金として継続的に保持し、かつ、運用する金銭その他の資産の額)

第四号基本金(恒常的に保持すべき資金として定められた計算により算出された額)

平成24年度貸借対照表(表3) (単位千円)	資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部		
	科目	本年度末	前年度末	科目	本年度末
固定資産	38,492,738	38,169,866	負債	6,723,941	6,847,930
有形固定資産	30,619,087	31,058,205	固定負債	4,103,532	4,270,323
その他の固定資産	7,873,650	7,111,660	流動負債	2,620,409	2,577,607
流動資産	5,092,332	4,911,301	基本金	47,160,008	46,496,720
			消費収支差額		
			翌年度繰越消費収支差額	△ 10,298,879	△ 10,263,483
資産の部合計	43,585,071	43,081,167	負債・基本金・消費収支差額の部合計	43,585,071	43,081,167

※平成25年3月31日現在

平成25年度資金収支予算書(単位千円)

収入の部	
科目	予算額
学生生徒等納付金収入	7,343,160
手数料収入	113,079
寄付金収入	17,680
補助金収入	1,357,096
資産運用収入	150,056
資産売却収入	0
事業収入	79,840
雑収入	225,240
前受金収入	1,265,098
その他の収入	623,278
資金収入調整勘定	△ 1,590,788
前年度繰越支払資金	4,471,212
収入の部合計	14,054,952
支出の部	
科目	予算額
人件費支出	4,765,214
教育研究経費支出	2,241,124
管理経費支出	669,967
借入金等利息支出	31,822
借入金等返済支出	209,005
施設関係支出	144,692
設備関係支出	631,462
資産運用支出	1,036,477
その他の支出	1,122,780
予備費	150,000
資金支出調整勘定	△ 737,479
次年度繰越支払資金	3,789,888
支出の部合計	14,054,952

平成25年度消費収支予算書

消費収入の部

消費支出の部

(単位千円)

科目	予算
学生生徒等納付金	7,343,160
手数料	113,079
寄付金	32,680
補助金	1,357,096
資産運用収入	150,056
資産売却差額	0
事業収入	79,840
雑収入	225,240
帰属収入合計	9,301,151
基本金組入額合計	△ 490,164
消費収入の部合計	8,810,987
人件費	4,999,178
教育研究経費	3,324,103
管理経費	698,076
借入金等利息	31,822
資産処分差額	44,791
[予備費]	150,000
消費支出の部合計	9,247,970
当年度消費支出超過額	436,983



# イベント予告

学内・学外で開催される予定のイベント情報をお届けします。(2013年9月～)

## 東京ゲームショウ2013

9月19日(木)～22日(日)の4日間、東京・幕張メッセで開催される「東京ゲームショウ2013」に、総合情報学部デジタルゲーム学科が出展します。2007年に初めて出展して以来、今回は7回目になります。

【公式Webサイト】  
<http://tgs.cesa.or.jp/index.html>

## 第6回テクノフェア in ねやがわ

最先端の科学技術をわかりやすく紹介する「第6回テクノフェア in ねやがわ」が11月の大学祭に合わせて開催されます。入場無料。

- ・日時:11月3日(日)10:30～16:00(10:00～受付)
- ・会場:大阪電気通信大学 寝屋川キャンパス・駅前キャンパス

## 公開講座

### 「世界最強! ネオジム磁石はこうして生まれた」

大阪電気通信大学では、世界最強の永久磁石「ネオジム磁石」の発明で、2012年に日本のノーベル賞と言われる「日本国際賞」を受賞した、佐川真人博士の特別講演会を開催します。テーマは、「世界最強! ネオジム磁石はこうして生まれた」です。

- ・日時:9月30日(月)15:00～16:30(開場14:30)
- ・会場:寝屋川市駅前キャンパス
- ・講師:佐川真人博士  
(インターメタリック株式会社最高技術顧問・前社長)
- ・定員:150人、入場無料
- ・問い合わせ及び申込先:  
 大阪電気通信大学 駅前キャンパス駅前事務室  
 TEL:072-824-8900  
 FAX:072-824-1141  
 E-mail:seminar@mc2.osakac.ac.jp

## オープンキャンパス

- ・日時:11月24日(日)13:00～16:30(受付開始12:30～)
- ・会場:駅前キャンパス
- \* 有名予備校講師による「入試対策セミナー」も開催されます。

2014年度入試日程

試験種別	出願期間	試験日	合否発表
AO入試	9月24日～10月2日	10月12日	10月19日
クリエイター適性入試(※)			
得意科目セレクト入試	10月1日～10月10日	10月20日	10月26日
専門学科・総合学科特別入試			
公募推薦入試 A・B日程	10月21日～10月30日 窓口:10月31日	A日程:11月9日 B日程:11月10日	11月20日
一般入試	前期A・B日程	A日程:1月31日 B日程:2月1日	2月11日
	センター方式前期	1月10日～2月3日必着	2月15日
	後期	2月10日～2月20日 窓口:2月21日および24日	3月1日
	センター方式後期	2月10日～2月28日必着	3月8日

(※)クリエイター適性入試のみ…総合情報学部デジタルアート・アニメーション学科、デジタルゲーム学科  
 他は工学部、情報通信工学部、医療福祉工学部、総合情報学部、金融経済学部

〒572-8530 寝屋川市初町18-8  
 大阪電気通信大学入試部  
 TEL:072-824-1131(代)  
 FAX:072-825-4589  
 E-mail:nyushi@isc.osakac.ac.jp

※資料の入手方法 ……………

テレメール:050-8601-0101  
 PC・ケータイ:http://telemail.jp  
 \* 請求資料番号 AO入試・クリエイター適性入試⇒459942  
 その他⇒170411

## 編集後記

この度、大阪電気通信大学学報はサイズを一新し、「OECCU NEWS」として生まれ変わりました。今後は内容を充実し、本学の「いいね!」をさらにお伝えできるよう、そして皆様楽しんでいただける情

報誌にしていきたいと思っております。学内・学外問わず、多くの皆様からのご感想・ご意見をお寄せくださるようお願いしております。

広報部